カーボンフットプリント (CFP) 算定シート使い方マニュアル (別冊) CFP事例集

大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課

2025年 (令和7年) 10月



江崎グリコ株式会社



算定

目的



- 「事業を通じて社会に貢献する」をCSR活動の根幹として、時代の要請や期待に応え、新たな価値の創造に挑戦し、社会と共に発展する
- 得意先からの取扱商品のGHG排出量の開示要求にも対応できるよう、 モデル事業にてセオリー通りの算定手法を確認する

対象製品· 算定結果





算定によりわかったこと



- CFP算定そのものの標準的な算定手法
- 工程別の「ホットスポット」の明確化; どこにフォーカスすべきかのポイント
- 第三者認証機関の数値保証による数値の信びょう性
- 管理範疇外 (フローが不明な部分) のシナリオ策定の手順

表示

「みんなで減CO2 (ゲンコツ) プロジェクト」の一環で、大阪府内 スーパーでアスエネCFP算定 ラベルを表示

(https://www.greenmarketing-lab.com/genco2/)

ポッキーチョコレート



2023年度に大阪府と一緒にポッキー1 箱あたりのCO2排出量(CFP)を実験 的に算定した結果は0.47kg-CO2eでし た。ポッキーを生産している北本工場 の使用電力は100%再生可能エネルギ ーです。

くわしくはこちら 🗗

||食品

SARAYA

算定

サラヤ株式会社

目的



- 持続可能な食の文化や新たな調理プロセスの提案を通じ、日本の安全・ 安心で美味しい食品を日本中・世界中に広める
- 自社の急速凍結技術が CO_2 排出量削減につながるか否かをCFPにより 定量的に把握する

対象製品· 算定結果





算定によりわかったこと



- 急速凍結機を活用した運用でも、CFPの差は大きくはならない
- 急速冷凍機による以下のメリットを踏まえると、差は許容できる範囲内
 - フードロス削減による排出量削減
 - 人手不足・人材不足などの対応として毎日調理ではなく、まとめて事前 調理によるエネルギーコストと排出量削減 (提供当日は再加熱提供で対応可能)

表示

 大阪府カーボンフットプリント セミナーにてCFPを公表 (<u>https://www.pref.osaka.lg.j</u> <u>p/documents/84355/seminar</u> <u>shiryou.pdf</u>)



削減を考えるための方向性 (大阪府事業からの提案;一部)



- より排出量の少ない 原材料の調達
 - 畜産プロセスの飼料をより環境負荷の小さいものに変更
 - 漁船の燃料の 脱炭素化、低炭素 化
- 生産工程の再工ネ導入等



MIKI HOUSE

算定

三起商行株式会社

目的

6

- 良いモノづくりをしていることで環境負荷を減らせる、というストーリーを実践する。
- 企業として上記ストーリーの重要性を念頭に、CO₂排出に係るホットスポットを 特定する

対象製品・ 算定結果





算定により わかったこと



• トレーナーを1世代限りで廃棄した場合と比較し、3世代で使い続けた場合の CO2排出量は56%削減

表示

展示会でデカボスコアとして表示



削減を考えるための方向性 (大阪府事業からの提案;一部)



- オーガニックコットンや 天然素材由来の生地 に変更
- 段ボールの形状の工夫 による使用量削減
- 再工ネ導入等

ミズノ株式会社

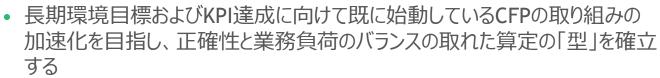


算定

目的

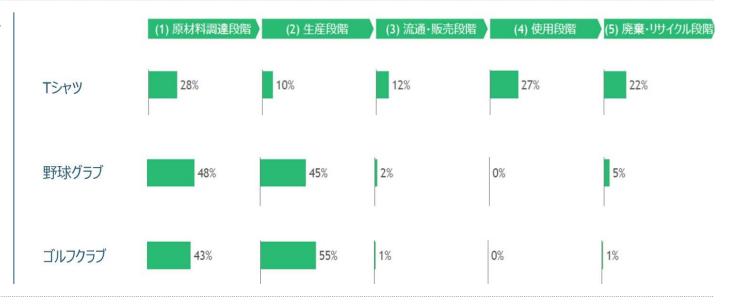
6





対象製品· 算定結果





算定によりわかったこと



- 一次データを入手して算出することの重要性
- 原材料調達、流通や販売などの輸送時の排出に関する考え方
- 一次データの取得が難しい場合のシナリオの考え方

表示

 大阪府カーボンフットプリント セミナーにてCFPを公表 (<u>https://www.pref.osaka.lg.j</u> <u>p/documents/84355/seminar</u> <u>shiryou.pdf</u>)



削減を考えるための方向性



- 省エネルギーや 再生可能エネルギーの 活用
- 製品製造工程の革新
- 廃棄物削減
- リサイクルの推進などの 活動の加速等



コク3株式会社

KOKUYO

算定

目的



- Scope3の"購入した製品・サービス"によるGHG排出量の削減に向け、自社/ サプライヤーによるCFP算定・削減の影響を見える化する
- 幅広い製品へのCFP表示に対応できるようにするため、モデル事業にて算定の 簡素化/型化を目指す

対象製品· 算定結果





算定によりわかったこと



- 環境配慮型製品のCFP削減への影響
 - つなげるーぱ、スマートキャンパス、オール紙フラットファイル等、CFP削減に繋がる既存製品の普及が削減への近道
 - 材料の軽量化やプラスチックから紙への置き換えが有効

表示

自社サイトにて大阪府モデル事業にて算定した5製品のCFPを 公表 (https://www.kokuyo.co.jp/

(https://www.kokuyo.co.jp/sustainability/environment/c
<a href="https://www.kokuyo.co.jp/sustainability/environment/co.jp/sustainability/environment

削減を考えるための方向性 (大阪府事業からの提案;一部)



- CFP削減に繋がる既存 取組の推進
 - スマートキャンパス (中紙重量削減)
 - オール紙フラット ファイル
- リサイクル推進(=焼却 廃棄量の削減)等









算定

ロート製薬株式会社

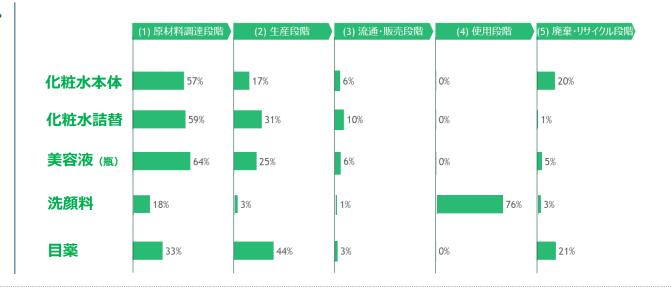
目的



- 「低炭素社会への貢献」に向け、数字を根拠とした削減計画を立案する
- 幅広い製品へのCFP算定を念頭に置き、算定の簡素化および削減対策の グループ化を目指す

対象製品・ 算定結果





算定により わかったこと



- CFP削減効果が大きい重点ポイントの把握
 - 段階別ホットスポットの可視化
- CFP算定方法の標準化
- 使用段階考慮の必要性
 - 間接的排出の存在

表示

自社統合レポート2025でCFP算 定を報告 (https://rohtocdnst01atbadkejf9c6hgaf.a03.azuref d.net/cojp/IR/Wellbeing_Report/2025/wb_repo rt_2025_v.pdf)

製品のカーボンフットプリント(以下、CFP)算定によるCO2排出量 の可視化に取り組んでいます。2024年度には、大阪府の「サプライ チェーン全体のCO2排出量見える化モデル事業」に参画し、国際基準に チェーンの各工程のホットスポットを認識し、適切な





削減を考えるための方向性 (大阪府事業からの提案; 一部)



- 包材の軽量化
 - 製品プラスチック/ ガラス容器の 軽量化
- 生産工程の再エネ導入



担当: 大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課

事務局: ボストン コンサルティング グループ合同会社

発行: 初版 2025年(令和7年) 3月

改定第2版 2025年(令和7年) 10月